
■■■日本世代間交流協会ニュースレター 2017年1月号■■■

新春とはいえども、まだ厳しい寒さが続いております。皆さまいかがお過ごしでしょうか。定期刊行のニュースレター、1月号をお送り致します。

【目次】

1. 杉会長より新年のご挨拶
 2. 活動報告
 3. 出版物の案内
 4. 「会員の声」
 5. その他
 6. 次号(4月)の予定
-

【1 杉会長より新年のご挨拶】

明けましておめでとうございます。

酉年の新年は晴天に恵まれ東京のいたるところから富士山が見られたとの話が聞かれました。

会員の皆さまの今年1年のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

さて、平成28年度は「世代間交流コーディネーター養成講座」の開始から10年という節目の年に当たり、世代間交流実践者コースとして「(仮)アドバンスコース」を新たに開講するための準備を進めております。

受講して資格を取得はしたけれど・・・地域の中で、企業の中で、施設の中で世代間交流の実践が、なかなか上手に継続できていない。資格は取得したけれど、地域で実践して行くには、どのような方法があるのかが分からない等会員からの声にお応えできるような、世代間交流の成功事例を持つ団体等を招いてより専門的な実践者向き講座を開設してまいります。

現在、世代間コーディネーター養成講座の過去10年の受講生の方々にアンケートを実施しております。結果を待って平成29年度事業として「(仮)アドバンスコースのご案内をいたします。

今後とも会員の皆さまには、ご協力とご支援をお願い申し上げます。

日本世代間交流協会 会長 杉 啓以子

【2 活動報告】

■ ワクチン VVAG 日本キャンペーンの啓発活動概略 ■

アメリカの Generations United(以下、GU)からの依頼で東京都健康長寿医療センター研究所が、日本世代間交流協会の協力のもと、「Valuing Vaccinations Across Generations」世代間で予防接種の大切さを考えよう！日本キャンペーン啓発推進を開始しました。これはアメリカ、日本の他、スペインでも実施されています。本会では主にキャンペーンの監修を以下のスケジュールで行いました。



・11月8日に、日本キャンペーン検討会議が行われました。キャンペーンの展開方法やツールについてチームメンバーとして参画いたしました。

・12月5日には、マット・カプラン氏を交えて、日本キャンペーンの進捗報告およびGUの今後の戦略を聞きました。

・12月31日に、2016年の日本キャンペーンが終了いたしました。写真のリーフレットなどを作成しました。現在、2017年のキャンペーンを継続できるようGUとファイザー間で検討中です。

* 詳細は HP をご覧ください (⇒ <http://www.ikouyo-vaccine.com/>)

■ 世代間交流コーディネーター養成講座 ■

2016(平成 28)年度第 10 回世代間交流コーディネーター養成講座開催

—8月26日(金)～27日(土)11名参加
で成功(盛況・感動)裏に終わる—

当協会と白梅学園大学との共催のこの講座も、今年で10回目を迎えました。初めはかなりの参加者数でしたが、少し減ってきて数人という年度もありました。しかし、今年度は11人集まり、充実した2日間で、受講者全員に「受講認定証」を授与することができました。



■ 日本世代間交流学会 第7回全国大会 が開催されました ■

10月8日(土)、東邦大学看護学部にて日本世代間交流学会 第7回大会(テーマ:人口減少社会における世代間交流～つながる未来へ～)が開催されました。今大会では、「人口減少社会における世代間交流」をテーマに多くの協会の先生方が研究発表およびシンポジウムにご参加くださいました。本大会では、東京大学名誉教授 神野直彦先生が「人口減少社会における世代間交流」について基調講演をされました。神野先生は、ユーモアを交えながらもとても分かりやすく人口減少社会に直面した日本の世代間交流の現在とこれからについてお話をしてくださいました。午後からは、シンポジウムおよび自由研究発表が行われました。発表会場では、研究者・実践者間の“世代間交流”も至る所で見られ、多角的な視点から「世代間交流」についての理解がより深められた大会になりました。

■ 「世代間交流コーディネーター」の登録商標手続き ■

「世代間交流コーディネーター」の登録商標取得に向けて、2016年10月25日付でお願いいたしました。地域包括支援の必要性が叫ばれる時代に、地域コーディネーターと共に「世代間交流コーディネーター」の資格者が地域で活躍することは日本世代間交流協会にとっても大きなメリットととらえております。

■ 平成28年度秋期「世代間交流セミナー」 講師 マット・カプラン氏 ■

12月8日(木)10:00-11:30に東京都健康長寿医療センター会議室において、ペンシルベニア州立大学教授マット・カプラン博士による「世代間交流セミナー」が行われました。カプラン先生は、「Intergenerational Spaces and Places 世代間の空間と場所」をテーマに、世代間の交流や協働の助けとなる公共空間をつくる意味について分かりやすく説明を下さり、多世代共創を目的とした環境における、クリエイティブなプログラムや環境づくり、およびデザイン戦略のあり方についてご提示を頂きました。会場には、草野前協会長をはじめ、多くの協会の先生方がご参加くださいました。

【3 出版物の案内】

■『世代間交流—老いも若きも子どもも—』第 16 号、特定非営利活動法人日本世代間交流協会第 9 号 の発行■

本年度も、ユニークな論文や報告が多く掲載されています。戦後 71 年を迎えた今年、孫世代である大学生が地域の祖父母世代や、自分の祖父母へのライフヒストリーを直接インタビューした貴重な記録となっており、世界的にも注目されています。当協会の定期刊行物であるこの機関誌は、国立国会図書館の定期刊行物の指定を受けております。皆様のお手元に、間もなく届く予定です。

■『世界標準としての多世代間交流のこれから—世代間交流の理論と実践シリーズ 2』草野篤子・溝邊和成・内田勇人・安永正史編著(三学出版)■

『人を結び、未来を拓く世代間交流—世代間交流の理論と実践シリーズ 1』(三学出版 2015 年 ¥2,100+税) に続く第 2 弾として現在、編集中、2017 年春刊行予定

本書では、世代間交流学の確立に向けて、米国、ヨーロッパ、東南アジアで、現在理論的にも実践的にも活躍している 11 人の理論家や実践家の方がたからの、珠玉の論文を、英文と日本語の 2 か国語にて掲載予定です。加えて、日本からも各方面からの論文が寄せられています。

【4 「会員の声」】

静岡県在住の会員である田中美幸先生は、発酵食品である「味噌づくり」を通して世代間交流を促進しています。子どもたちが元気に育つための「食育」を多くの地域と



連携して普及しています。今、なぜ「食育」「手作り味噌」なのか! の広報誌をお送りいただきましたので、ご活躍の一端をご紹介します。詳しくは「みそのみゆき先生」までご連絡ください。(090-9227-3535)

【5 その他】

「会員の声」ということで、皆さまにご応募を呼びかけています。皆様のご意見や体験談・エッセー・詩・俳句などを、ニュースレターに掲載したいと思いますので、世代間交流について思うこと、当協会について感じる事など、どのようなことでも結構です。ご意見を以下のアドレスにお寄せ下さい。

[yhoyho05\[at\]tmig.or.jp](mailto:yhoyho05[at]tmig.or.jp) ([at]を@に変更してください)

【6 次号(4月)の予定】

1. 活動報告
2. 活動予定
3. 会員の声
4. その他

【編集後記】

今月のニュースレターは、いかがでしたでしょうか。
次号も、どうぞよろしく願いいたします。